



2024年3月27日

各 位

会 社 名 三櫻工業株式会社
代 表 者 取締役社長 竹田 玄哉
(コード番号：6584 東証プライム)
問 合 せ 先 執行役員 松本 安生
ガバナンス統括本部長
(TEL. 03-6879-2622)

当社取締役会の実効性評価結果の概要について

当社は、「コーポレートガバナンス・コード」に基づき、取締役会の機能向上による企業価値の向上を図ることを目的として、取締役会の実効性について分析・評価を行いましたので、その結果の概要を下記の通りお知らせいたします。

記

1. 評価方法

すべての取締役および監査役に記名式のと取締役会評価アンケートを実施し、項目ごとに5段階評価を行うとともに自由記述欄にて回答を得ました。その回答の集計結果をもとに、取締役会において課題や今後の取り組みについて協議いたしました。

アンケートにおける大項目は、以下の通りです。

- (1) 取締役会の構成に関する質問
- (2) 取締役会の運営に関する質問
- (3) 取締役会の議題に関する質問
- (4) 取締役会を支える体制に関する質問
- (5) 人事報酬諮問委員会の運営に関する質問
- (6) 株主との対話に関する質問

2. 前回評価における課題

前回の取締役会評価では、取締役会の実効性をさらに高めていくために取り組むべき課題として、以下のような意見が出ました。

- (1) 代表取締役の後継者計画についての議論の充実
- (2) 経営戦略や経営計画策定についての議論および策定
- (3) 経営陣の報酬についての議論の充実
- (4) リスク管理体制の強化

3. 前回評価における課題への対応

前回の取締役会評価の結果を踏まえ、以下の通り施策を行いました。

- (1) 代表取締役の後継者計画についての議論の充実

人事報酬諮問委員会において、代表取締役の後継者についての討議を本格化するとともに、委員以外の社外取締役にも同委員会での討議にご参加いただいております。

(2) 経営戦略や経営計画策定についての議論および策定

中期経営方針の更新に向けて執行側で検討を続けており、進捗を取締役会へ報告しております。

(3) 経営陣の報酬についての議論の充実

人事報酬諮問委員会における報酬検討および諮問のプロセスについて、取締役および監査役に説明しております。

(4) リスク管理体制の強化

リスク管理部門の組織の見直しを行うとともに、業務監査部門の人員増強を行い、両部門が連携できる体制を整備いたしました。

4. 今回の評価結果の概要および課題

1. による評価の結果、当社取締役会は適切に機能しており、取締役会の実効性が確保されていることを確認いたしました。一方、取締役会の実効性をさらに高めていくために取り組むべき課題として、以下のような意見が出ました。

(1) 代表取締役の後継者計画についての議論の充実

(2) 経営陣の報酬についての議論の充実

(3) 株主との対話の充実

(4) 株主との建設的な対話に関する方針

5. 今後の取組

当社取締役会は、今回の評価に基づく課題に対し、実効性を高める施策を行ってまいります。

なお、当社は、取締役会の実効性評価を今後も継続的に実施し、取締役会の実効性のさらなる向上に努めます。

以 上